

◎ 会員だより

「あーきてくと通信」は興味深い話題が多く、楽しく拝読しています。7月号の「北九州市における空き家対策」は民間事業者などと連携しながら取り組んでいる具体的な事例で、実務の参考になりましたし、今後、他市町村の事例も知りたいと思いました。
匿名希望（市町村勤務、29）

6月号の「表紙」となっている令和元年の千曲川の浸水は大災害で、非常にインパクトがありました。毎号読ませていただいて、最新の技術や他機関の取り組みなどを学ばせてもらっています。
匿名希望（都道府県勤務、31）

7月号の「技術資格試験合格体験記」を拝読しました。一級建築士の取得を目指す若い職員のやる気を見て、自分もあと一息頑張らねばと奮い立つ思いが湧きました。有難い事です。
野原和男（都道府県勤務、58）

6月号の「特集」の「国交省におけるこれまでの巨大地震対策と「総力戦で挑む防災減災プロジェクト」について」が興味深かったです。これからの防災対策は、防災意識社会の構築が必要で、その上でハード対策とソフト対策を組み合わせることが重要であると感じました。
匿名希望（国土交通省本省勤務、28）

7月号の「会計検査情報」を読んで、ドキッとしました。なぜならば、同じような指摘を受けて是正したことがあるからです。基礎の根入れは基本的な事であるからこそ安易に施工してしまっていることがあります。皆さんにも気をつけて欲しいですね。
鈴木智義（市町村勤務、44）

「上徳不徳」をいつも楽しみにしています。6月号に書かれていたように財政再建至上主義の論理だけで考えている政府は本当に残念ですが、正しい認識を持って行動していきたいと思えます。
古藤通章（市町村勤務）

7月号の「事例から学ぶ現場力の向上」を読んで、公共工事で借地などによって私有地に影響を与える場合、持ち主の立場になったの対応が大切だと思いました。
匿名希望

6月号の「諸外国のインフラ情報」の「世界の視点から予定価格制度を考える」が興味深かったです。自分が入庁したときには「予定価格公表」を導入に踏み込んだことが驚きでした。今はそれ自体も見直そうと提案されています。時代は変わっていると痛感します。
匿名希望（都道府県勤務、50）

7月号の「地区連の頁」を読んで、岐阜県が取り入れている、「現場遠隔確認システム」がすごく興味を惹きました。導入・実施にはなかなかハードルが高いのかなと思いますが、人員不足解消等のメリットが大きく、必ずIoTの活用が主流となる時代が来ると思いました。
野原貴仁（市町村勤務）

7月号の「特集（社会資本の戦略的な維持管理）」は、点検業務に携る者として、点検の最新技術は非常に興味があります。点検コストを下げながら、誰でも点検が可能となるようなAI技術にも期待したいと思います。
匿名希望（都道府県勤務）

7月号の「建設技術者のためのこの一冊」で紹介されていた『国土と日本人』を読んだの知見とNHKスペシャルGeoJapanをあわせて視聴すると、実感が湧きます。
赤星文生（元地方整備局勤務、66）

維持管理に携わる地方公務員として、昔の地道な業務のイメージからすると、7月号の「特集」の「戦略的な」維持管理は、励みになりますし、今後も特集として続けていただきたく思います。
匿名希望

資格試験の傾向や対策などが載っている「技術資格試験合格体験記」と会検の指摘事例や解説が載っている「会計検査情報」は若手職員にアドバイスするのに、大変役立っています。
匿名希望

7月号の「特集」の「名古屋国道におけるコンクリート舗装による長寿命化対策について」に関心をもちました。今後、増大する維持管理費用の削減のために、あらゆる手法の早期検討が重要になってくると思います。
匿名希望

広い知識が必要とされる土木技術職として、「基礎から学ぶインフラ講座」は、毎回わかりやすくまとめられているので必ず読むようにしています。他の部署と話す時に生きています。
匿名希望（市町村勤務、33）

7月号の「特集」の「公募型河道内樹木伐採事業の拡充に向けて」は、公募による天竜川の樹木伐採事業で、応募者を増やすために企業等だけでなく一般の方を対象を広げたという発想は参考にしたいです。
國司哲也（市町村勤務、49）

毎月月刊「建設」を読んで、技術士の勉強にも使わせて頂いております。日常業務のみでは得られない情報も数多くあるので、今後も活用していきたいと思えます。
匿名希望（都道府県勤務、38）

新規採用なので知らないことが多い中、月刊「建設」は幅広い情報等を入手する良い機会になっています。
匿名希望（都道府県勤務）

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

